

盆家族

宮坂静生



顔緊まる八月けふる草の丈
盆燈籠組み原発禍許さざり
地中からこゑ立ち上がる盆の蟬
半分は鳴かざる蟬の穴ならむ
雉^き羽^は太^たをつゝく箸^た触れ盆家族
敗戦日小便かけて蚯蚓脹れ



烏いま危機のかたまり銀河かな
もの食ひて眼のにごりたる秋はじめ
馬追の瘦身水気切らしをり
蟻抓むごそと歓喜のごときもの
蔓物の吾をそむきゆく地藏盆
土用芽のうすくれなるは亡き子とも
悼 曾根原幾子さん
八朔の死もまた覇気に包まれし